

## 人権教育において取り組む人権課題

児童生徒の発達段階に応じ、人権の意義・内容等について理解させるとともに、「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」ができるようにし、それが、様々な場面等で具体的な態度や行動に現れるようにする。また、新型コロナウイルス感染症に関する偏見や差別、いじめの防止等の今日的な人権課題を取り上げ、指導を行う。

### [参考]

#### 1 個別の人権課題

No.	課題	No.	課題
1	女性（男女共同参画、DVなど）	8	H I V感染者・ハンセン病患者等
2	子ども（いじめ、児童虐待など）	9	刑を終えて出所した人
3	高齢者	10	犯罪被害者等
4	障害者	11	インターネットによる人権侵害
5	同和問題	12	北朝鮮当局による拉致問題等
6	アイヌの人々	13	その他（性同一性障害者の人権、人身取引、ホームレス等）
7	外国人		

※ 「人権教育の指導方法等の在り方について[第三次とりまとめ]」（平成20年3月文部科学省）からの引用

#### 2 学校で重点的に取り組んだ個別の人権課題 [令和元年度実績:小・中・高]

校種	人権課題（上位5課題）				
小学校 (746校)	子ども	障害者	インターネットによる人権侵害	高齢者	外国人
	734校 [98.4%]	731校 [98.0%]	721校 [96.6%]	699校 [93.7%]	646校 [86.6%]
中学校 (346校)	インターネットによる人権侵害	子ども	障害者	高齢者	外国人
	336校 [97.1%]	332校 [96.0%]	329校 [95.1%]	311校 [89.9%]	276校 [79.8%]
高等学校 (148校)	インターネットによる人権侵害	女性	障害者	子ども	高齢者
	140校 [94.6%]	136校 [91.9%]	135校 [91.2%]	133校 [89.9%]	133校 [89.9%]